

Mémoires 2018

日本ダービー



第85回日本ダービー(GI)優勝馬 ワグネリアン



平成最後のダービーで悲願達成

強い陽射しに場内の熱気も自然と高まる、5月最後の日曜日。東京競馬場には「平成最後のダービー」を目指しようと、12万6767人の大観衆が集まった。

注目を集めたのは皐月賞に出走していない2頭の無敗馬だった。1番人気のダノンプレミアムは前年の2歳王者。年明けの弥生賞も完勝したが、挫趾を発症して皐月賞を回避し、ここは約2か月半ぶりの実戦となっていた。2番人気のプラストワンピースは、年末には有馬記念を制することになる大器。毎日杯を制し、賞金的には皐月賞への出走が可能だったが、早々とパスすることを決め、このダービーに照準を合わせてきた。

レースを先導したのは、皐月賞の覇者エポカドーロだった。ジェネラーレウノが2番手を追走し、ダノンプレミアムが内から続く。プラストワンピース、ワグネリアンは、これらの先行勢を見る位置にいた。

直線での爆発力を最大の武器とするワグネリアンだが、1番人気に推された皐月賞では後方待機策も馬場や展開に恵まれず、7着と本来の力を出し切れなかった。しかし、ダービーでは積極策を取る。福永祐一騎手は「引っ掛かる心配はあったけれど、外枠なので、自分から動かないとダメだと思って」と、勇気を持って前のポジションを取りに行ったことをレース後に明かした。

直線、エポカドーロに内からダノンプレミアム、外からコズミックフォースが迫り、さらにその外からワグネリアンもスパートをかける。しかしエポカドーロは驚異的な粘りで先頭を譲らない。坂を上がり、残り100m手前でダノンプレミアムの脚色が一瞬になる。一方、コズミックフォースとの競り合いを制したワグネリアンは、鞍上の鬼気迫るアクションに応じて最後のひと伸び。残り50mでエポカドーロを捉えると、半馬身、前に出たところが栄光のゴールだった。その瞬間、2015年生まれサラブレッド6955頭の頂点が決定した。

福永騎手はデビュー23年目、19回目の挑戦でのダービー制覇。天才ジョッキーと謳われた父の洋一氏が叶えられなかった夢に、ついに届いた。「うまく表現できないけど、喜びともまた違う、特別な気持ちです」というその言葉が、すべてを言い表していた。

▶ 皐月賞から巻き返し、3歳馬の頂点に立ったワグネリアン。



東京優駿(GI)(第85回日本ダービー)

5/27 東京競馬場 2400m(芝・左) 晴・良 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	ワグネリアン	牡3	57	福永 祐一	友道 康夫	2:23.6 ⑤	④	④⑤⑥④
2	エポカドーロ	牡3	57	戸崎 圭太	藤原 英昭	1/2 ④	①①①①①	
3	コズミックフォース	牡3	57	石橋 脩	国枝 栄	クビ ⑥	④③②②	
4	エタリオウ	牡3	57	H. ボウマン	友道 康夫	ハナ ⑩	⑦④③⑤	
5	プラストワンピース	牡3	57	池添 謙一	大竹 正博	ハナ ②	⑧⑤⑤④	
6	ダノンプレミアム	牡3	57	川田 将雅	中内田充正	アタマ ①	③③②④	
7	ゴフォザサミット	牡3	57	蛸名 正義	藤沢 和雄	1 1/4 ⑦	⑧⑧⑧⑦	
8	ステルヴィオ	牡3	57	C. ルメール	木村 哲也	クビ ⑥	⑮⑬⑬⑫	
9	アドマイヤアルバ	牡3	57	丸山 元気	須貝 尚介	3/4 ⑰	⑯⑯⑯⑯	
10	ステイフルリッシュ	牡3	57	横山 典弘	矢作 芳人	クビ ⑩	⑧⑯⑮⑮⑮	
11	タイムフライヤー	牡3	57	内田 博幸	松田 国英	1 1/4 ⑱	⑮⑯⑯⑯⑯	
12	キタノコマンドール	牡3	57	M. テムーロ	池江 泰寿	クビ ③	⑮⑮⑮⑮⑮	
13	サンリヴァル	牡3	57	浜中 俊	藤岡 健一	1/2 ⑳	⑥⑧⑨⑨	
14	グレイル	牡3	57	岩田 康誠	野中 賢二	3/4 ⑨	⑬④⑬⑬⑬	
15	オウケムーン	牡3	57	北村 宏司	国枝 栄	2 1/2 ⑱	⑮⑮⑮⑮⑮	
16	ジェネラーレウノ	牡3	57	田辺 裕信	矢野 英一	1 3/4 ⑲	②②②②②	
17	ジャンダルム	牡3	57	武 豊	池江 泰寿	1/2 ⑪	⑬⑮⑮⑮⑮	
18	テーオーエナジー	牡3	57	藤岡 康太	宮 徹	5 ⑳	⑥⑤⑥⑦	

単勝⑦1,250円 複勝⑦410円 ②390円 ⑦3,640円 枠連(6-8)3,190円
馬連②-⑦7,950円 馬単⑦-②15,520円 ワイド②-⑦2,710円 ⑦-②34,420円 ⑦-②30,290円
3連複⑦-②-⑦521,600円 3連単⑦-②-⑦2,856,300円

ハロンタイム 12.7-11.0-12.3-12.4-12.4-12.3-12.2-12.0-11.7-11.2-11.2-12.2
通過タイム 600m③6.0-800m④48.4-1000m⑤1:00.8-1200m⑥1:13.1-1400m⑦1:25.3-
1600m⑧1:37.3-1800m⑨1:49.0-2000m⑩2:00.2-2200m⑪2:11.4

優勝馬 ワグネリアン

2015.2.10生 父ディーフィンバクト 母ミスアンコール 母の父キングカメハメハ
安平・ノーザンファーム生産 馬主：金子真人ホールディングス(株)



▲好位でレースを進めたワグネリアン(帽色・桃・中)は、先頭を射程内に入れ直線へ。